

外国語科学習指導案

日 時：

学 校 名：

展開学級：

授 業 者：

1 単元名 “Welcome to Japan” (Junior Sunshine 6 Lesson 2)

2 単元目標

おすすめる日本文化の紹介の参考にするために、名物や名所、行事などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、日本のことをよく知らないALTに日本のよさをよく知ってもらうために、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。

3 単元について

本単元の目標は学習指導要領外国語第2英語の目標（4）話すこと〔発表〕ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」を受けて設定する。児童が暮らす日本の良さを、日本のことをあまり知らないALTに紹介し興味をもってもらうために、名物や季節ごとの行事、名所などについて自分の考えや気持ちを含めて発表する。実際にALT7人程度を学校に招き、直接紹介を行う場面を設定する。ALTに児童に向けたビデオレターを送ってもらい、それを視聴することをきっかけとして学習を始める。また、ALTにアンケートし、好き嫌いや趣味などALTの人となりや、児童が事前に把握できるようにすることで、より相手のことを意識した活動となることを目指す。この単元を通して、日本の良さや自分の考えを伝え合うための表現や語句について学習する。単元前半では、導入の教材や教員の紹介例などを視聴しながら、目的や場面、状況などを把握し、日本の良さを表す語句や表現を聞いたりしながら徐々に自分の考えをアウトプットしていく。日本の名物や行事などについて友達に伝えたり、グループでアドバイスし合う言語活動を行ったりする中で、ALTによりよく伝わるような工夫を多く引き出せるようにしていきたい。

児童はこれまで、Junior Sunshine 5 Lesson 4 “Can you do this?” において、自分のできることを表す表現について理解し、自分のできることや好きなものを紹介する表現を学習した。また、Lesson 9 “I love my town.” において、自分がおすすめる観光スポット等を表現する経験をしている。本単元では、既習事項を活用し、おすすめしたいポイントなどがよくわかるように、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができるように指導する。千葉市版 CAN-DO リストを活用し、これまでに自分が「何ができるようになったのか」「どのような表現が使えるようになったのか」を考えながら学習を進められるようにする。また、CAN-DO リストを元に作成した児童用ルーブリック「学びガイド」を活用することで、自分の発表がよりよいものになるように学習を進められるようにする。学びガイドには、「プロ級」と「いい感じ」の2つのレベルを設け、単元の学習を進めていく中で、どのような工夫をすれば「プロ級」のパフォーマンスに近づくことができるのか考えていく。振り返りシートにも、学びガイドと同じスケール表を設け、常に自分が「プロ級」と「いい感じ」の間のどの辺りの到達度かを振り返ることができるようにする。振り返りの時間を十分に設け、自分の学習を見直し、次の学習につなげられるようにする。この単元の最後には、児童が、相手に合わせて内容を整理し、自分の考えや気持ちを進んで伝えられるようになるように学習を進める。

4 児童の実態

5 研究テーマ・視点について

(1) 研究テーマ

学びのつながりを意識した、「伝える力」をのばす指導と評価

(2) 視点及び手立て

視点1 学びのつながりを意識した学習活動の工夫

○既習表現の積極的な活用

「学びガイド」を使って、どのような紹介が「プロ級」にあたるのかを、児童と話し合う中で、既習事項を使った紹介がより相手に伝わる紹介のポイントの一つであることを児童と確認する。児童に配付した『会話が楽しくなるキーフレーズ』や **CAN-DO** リストを活用し、どのような既習表現を使うことができるか、児童が常に考えることができるようにする。中間指導の際に、既習表現をうまく使っている児童の例を取り上げ、児童が自分の紹介に取り入れることができるようにする。

○Can-Do リストと振り返りシート

学習の中では **Can-Do** リストを活用することし、児童が目標を明確化させ、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。また、振り返りシートを活用し、自分の学びを自己調整し、粘り強く取り組むことができるようにする。学習を進めていくにあたり、この2つを活用し、児童の「伝える力」を育てられるようにしたい。

視点2 「伝える力」を伸ばすための指導と評価の工夫

○初めて会う ALT に直接伝える機会を設定

今回の活動は、児童と面識がない ALT 7 人を小学校に招き、直接会って紹介を行う。これまではビデオレターの形での ALT との交流を行う機会があったが、直接会って交流を行う機会はなかった。直接会うことで、相手からリアルタイムで反応をもらえる利点がある。また、直接話すからこそ注意しなければならないことを児童と共有できるようにする。紹介する ALT には事前に、趣味や興味、日本について既に知っていることをアンケートし、児童に伝える。紹介する相手にとって必要となる情報を事前に児童に伝えることで、児童が相手意識をもって、伝えることができるだろう。

○適切なフィードバック

どのような評価規準・ルーブリックを設定し学習を行っているかを ALT と共有し、適切なフィードバックを行ってもらえるようにする。児童が「準備できてよかった」と達成感を味わえるようなフィードバックができるよう、ALT と密に打ち合わせを行うようにしたい。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	〔知識〕 We have ~ in ~. , You can ~. It's ~. 及びその関連語句 (以下、主な言語材料) について理解している。 〔技能〕 日本の文化のよさについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	日本のことをよく知らない ALT に日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	日本のことをよく知らない ALT に日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
聞くこと	〔知識〕 主な言語材料について理解している。 〔技能〕 日本の名物や名所、行事などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。	おすすめする日本文化の紹介の参考にするために、ほかの人がおすすめする日本の名物や名所、行事などについて具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	
読むこと	〔知識〕 主な言語材料について理解している。 〔技能〕 日本の文化のよさについて、主な言語材料を用いて書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。		

7 指導と評価の計画 (8時間扱い)

時	学習内容 (★・・・学びガイド、振り返りシート CAN-DO リストを特に活用した活動)	知 技	思 判 表	態 度	評価基準〈評価方法〉
1	○代表の ALT からの動画メッセージを視聴し、日本の文化について紹介する目的を理解する。 (メッセージ例) Hello. I'm ~. I'm from ~. I like Japanese food. And I like sweets and spicy foods. Please tell me about Japanese food. ★CAN-DO リストを見て、この学習でできるようになることを確認する。 ○教師の日本の文化についての紹介する動画を見て、おおよその内容を理解する。 ★ALT に日本の名物などのおすすめポイントがよく伝わるようにするために、どのような工夫があるか学びガイドに書きこむ。 ○ポイントとなる表現を確認する。 ○日本の名物や名所、行事などの言い方に慣れるために、「ポインティングゲーム」をする。 ○日本の名物や名所、行事などの語句を聞き取る。 ○スポーツが好きな外国人に日本のことを紹介す				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。

	るために相応しい内容について考え、記述する。 <u>○おすすめする日本の文化を考え、紹介してみる。</u> ★振り返りをする。				
2	○Chant “We have hanami in spring.” を聞き、練習する。 ○Small Talk 「好きな場所(Japanese place)」 ○日本の名物や名所、名物や行事などを捉える。 ○「連想ゲーム」をして日本の名産や名所、名物や行事について、できることや様子を表す表現に慣れる。 ○行事や特徴、様子などを聞き取り、線で結ぶ。 ★ALT の好きなものや趣味について知り、学びガイドに記録する。 <u>○おすすめしたい日本の名物や行事、名所がよく伝わるように、様子などの表現を入れてペアで伝え合う。(ギガタブを使い、動画に残す)</u> ★振り返りをする。	本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。			
3	○Chant “We have hanami in spring.” を聞き、練習する。 ○日本の都道府県の紹介を聞き、順番を書く。 <u>○おすすめしたい日本の名物や行事、名所がよく伝わるように、様子などの表現や、より詳細な情報を入れてペアで伝え合う。(ギガタブを使い、動画に残す)</u> ○日本の行事や名所を紹介する表現を聞き、文を指で追う。 ○おすすめの名所、名物などを紹介する文を書く。 ★振り返りをする。	本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。			
4	○Small Talk 「好きな和食(Japanese food)」 ○Chant “We have the Kanto Festival in Akita.” を聞き、練習する。 ★二つの紹介を比べ、相手によく伝わるようにする工夫を見つける。ほかにもどんな工夫ができるか、学びガイドに書き込む。 ○「スリー・ヒント・クイズ」をして、日本の名物や行事などの紹介の仕方に慣れ親しむ。 ○日本の名物や行事、できることや様子などを聞き取り、線で結ぶ。 <u>○おすすめの日本の名物や行事などについて、もっと詳しく話す。</u> ★振り返りをする	本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。			

5	○Chant “We have the Kanto Festival in Akita.” を聞き、練習する。 ○発表ノートを活用し、紹介の時に使う、スライドを作る。 ○登場人物の日本の紹介を聞き取る。 <u>○おすすめしたい日本の名物や行事などを発表する。</u> ○自分のおすすめしたい日本の名物や行事などについて、おすすめする理由を表す文を書く。 ★振り返りをする。	聞	聞		<u>聞くことの記録に残す評価</u> ◎〔知識〕 主な言語材料について理解している。 〔技能〕 日本の名物や名所、行事などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 ◎おすすめする日本文化の紹介の参考にするために、日本の名物や名所、行事などについて具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 【行動観察・教科書への記述・振り返りシート】
6	○Small Talk 「好きな日本のイベント」 ○Chant “We have the Kanto Festival in Akita.” を聞き、練習する。 ○日本のことを紹介している文章を読んで、その意味を理解する。 <u>○日本の伝統や文化などをよくわかってもらえるように、グループの仲間で発表し合って、話す内容を整理する。</u> ★振り返りをする。	読			<u>読むことの記録に残す評価</u> ◎〔知識〕 主な言語材料について理解している。 〔技能〕 日本の文化のよさについて、主な言語材料を用いて書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。 【行動観察・振り返りシート】
7 (本時)	○Chant “We have hanami in spring.” を聞き、練習する。 <u>○グループでおすすめするものの魅力が伝わるように、おすすめの日本のよいところを紹介する。</u> ★振り返りをする。	発	発	発	<u>話すこと（発表）の記録に残す評価</u> ◎〔知識〕 We have ～ in ～. , You can ～. It's ～. 及びその関連語句について理解している。 〔技能〕 日本の文化のよさについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ◎日本のことをよく知らないALTに日本の文化について、興味をもってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している ◎日本のことをよく知らないALTに日本の文化について、興味をもってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。 【パフォーマンステスト・発表の様子を撮影した動画・振り返りシート】
8	○世界の様々な行事について知る。 ○イラストや写真を頼りに文章を読み、内容がわ				

	かるところを共有し、内容を予想する。 ○全体の音声を聞き、わかったことを共有する。 ○一文ずつ音声を聞きながら文を指で追う。 ★【CAN-DO チェック】単元の学習を振り返る。				
--	---	--	--	--	--

8 本単元で扱う語彙・表現

表現 We have (hanami) in (Japan).

We have (the Star Festival) in summer [August].

You can (eat sushi).

It's (delicious).

語句 動作を表す語句 (eat, enjoy, see, go)、季節(spring, summer, fall/autumn, winter)

月(January ~ December)、食べ物(sushi, tempura など)、行事(festival, firework など)

9 本時（7／8）の指導

(1) 本時の目標

○日本の良さについて主な言語材料を理解し、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを含めて話することができる。 【知識及び技能】

○日本のことをよく知らないALTに日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話す。

【思考力、判断力、表現力等】

○日本のことをよく知らないALTに日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開（7／8）

過程	学習活動と内容	○教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 (8)	○挨拶する。 T : Hello, everyone. Ss : Hello. T : Good morning. How are you? Let's talk with your friends. How are you? S1 : How are you? S2 : I'm (happy / fine / hungry / sad / sleepy / tired / angry). How are you? ○曜日や日付、天気などを確認する。 T : What day is it today? S : It's (Monday / Tuesday / Wednesday). T : What's the date today? S : It's (). T : How's the weather?	○英語でのやり取りに慣れるように、英語で挨拶をする。 ○楽しく学習をスタートするための雰囲気づくりをする。 How are you? の質問は児童同士で質問し合うことで、英語を声に出す機会を多くする。

	S : It's (sunny / cloudy / rainy / snowy) . ○学びガイド、振り返りシートも活用して、どのような紹介を目指すのか、全体で確認する。 ○本時の学習課題を知る。	○今まで学びガイドに書き溜めてきたことや、前回の振り返りシートの記述を提示する。 ○プロ級を目指すために、するとよいことを確認する。(参考：前回の実践で出た内容) ・正しく話す。 ・スムーズに（言いよどまずに）話す。 ・問いかけを入れる。 ・詳しい情報を入れる。 ・複数の情報を入れる。 ・間合いに気を付ける。 ・ジェスチャー（身振り、手振り、目線、表情） ・声（強弱、声量、明瞭さ） ・発話内容と一致する画面操作
めあての把握 (2)	日本のよさをよく知ってもらうために工夫して、ALT に紹介しよう	
展開 (25)	○Chant “We have hanami in spring.” を全員で一回練習する。 ○グループの中で、最後の紹介練習をする。 ○1人目のALTに向けて、グループごとに発表を行う。 ステージ	○この学習で重要な表現をしっかりとと言えるようにする。言えていない児童がいたら、全員で表現を練習する。 ○学びガイドを活用し、どのようなことに気を付けて紹介すればよいのか再度確認する。 ○グループごとにALTの待っている場所へ移動し、紹介を行う。 ○中間指導の時に友達の発表のアドバイスができるように、学びガイドに友達の良かったところやさらに良くするためのアドバイスをメモしておくよう声をかける。 児童4人または5人+ALT でグループを構成 ↓ 1人目から発表をしていく (様子はギガタブでグループごとに撮影) ↓ 最後にALT からコメントをもらう。

振り返り (10)	○グループの中で、発表を振り返り、お互いにアドバイスし合う。 ○よい発表の児童を選び、発表してもらう。 ○2人目の ALT に向けて、グループごとに発表を行う。 ○振り返りシートを使って、本時の振り返りをする。CAN-DO リストを使って、単元の振り返りをする。	ALT からのコメント例： Good Gesture. Excellent. You can do eye-contact! So nice! Thank you. You can speak in clear voice. など。児童が達成感を味わえるようなコメントにする。 ○2人目への発表に向けて、さらに良い発表になるようにグループごとに振り返りを行う。 ○どこがよいか、全体で考える時間をとる。 ◎日本の良さについて主な言語材料を理解し、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。(知識・技能) ◎日本のことをよく知らない ALT に日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(思考・判断・表現) 【行動観察・撮影する動画・ALT の評価メモ】 ○自分の紹介や表現内容を振り返り、学びガイドのスケールに、自分はどの位置にいるのか振り返りシートに記す。 ◎日本のことをよく知らない ALT に日本のよさをよく知ってもらうために、日本の名物や名所、行事などについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 【振り返りシートの記述・学びガイドへの記述・行動観察】
----------------------	--	---

Aと評価できる児童の発表例

Hello. I'm ○○.

Welcome to Japan.

Do you like towers? (問いかけがある)

We have TOKYO SKYTREE in Tokyo.

I like TOKYO SKYTREE. It's tall.

It's 634 meters high. (具体的な数字がある)

You can see beautiful town. It's wonderful.

Thank you.

Bと評価できる児童の発表例

Hello. I'm ○○.

Welcome to Japan.

We have TOKYO SKYTREE in Tokyo.

I like TOKYO SKYTREE. It's tall.

You can see beautiful town. It's wonderful.

Thank you.

※自分の考えや気持ち(たとえば It's beautiful.)は、必ず入れられるように指導する。